

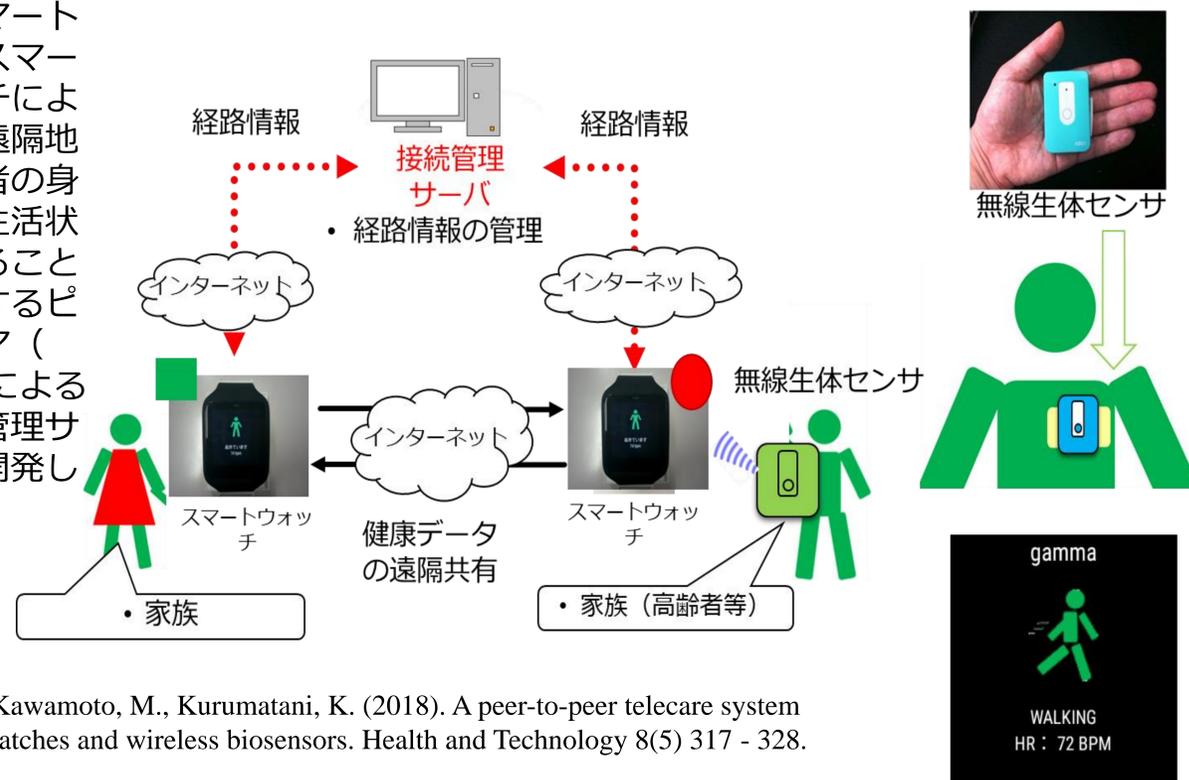
概要

空間的に分散した利用者間の情報の流れを制御することで物理的空間を超越する新しい情報サービスや、その実現のためのサービスプラットフォームへの関心が高まっています。本発表では、ピアツーピア (P2P)方式遠隔健康管理サービスを題材にオープンなサービスプラットフォーム化に向けた課題分析の方法とその分析の結果について紹介します。

題材:

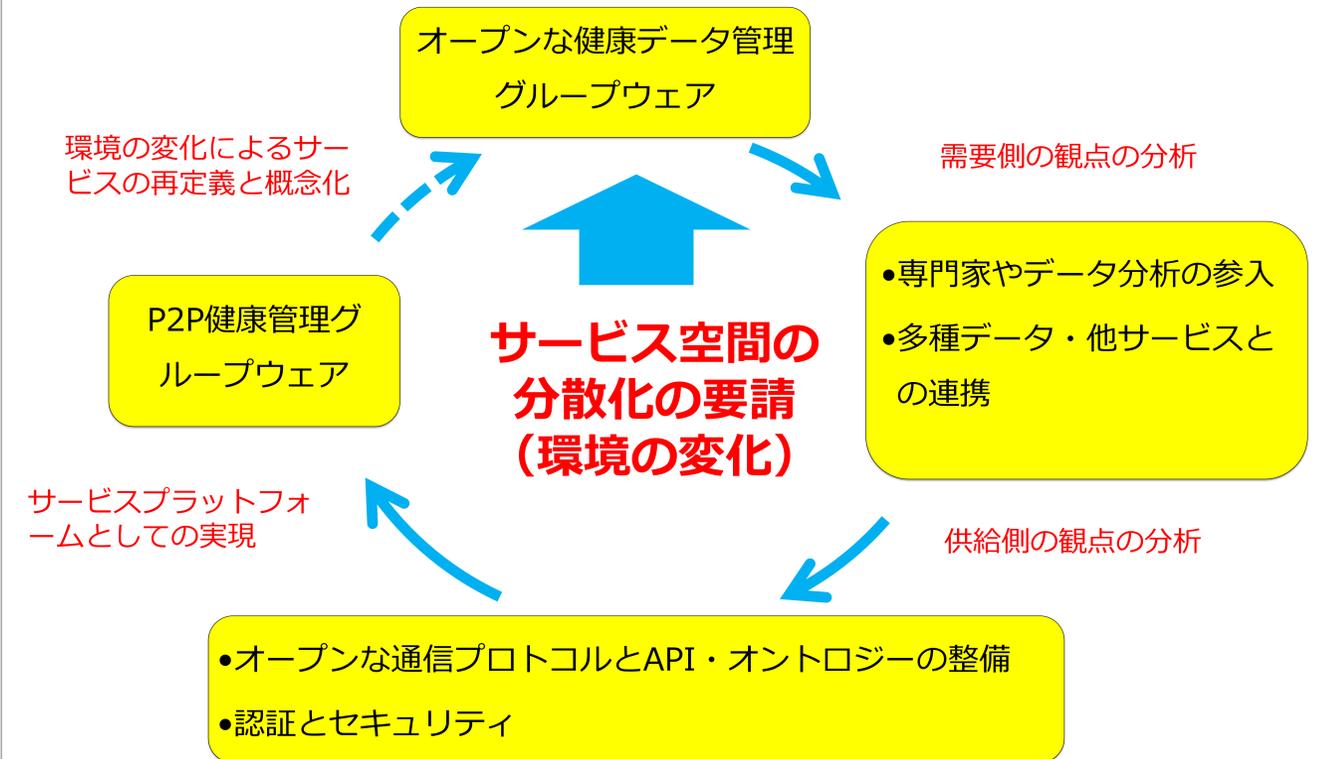
P2P遠隔健康管理サービス—空間的に分散した情報サービスの一例

複数のスマートフォンやスマートウォッチにより直接、遠隔地から高齢者の身体状態や生活状況を見守ることを可能にするピアツーピア (P2P)方式による遠隔健康管理サービスを開発しています



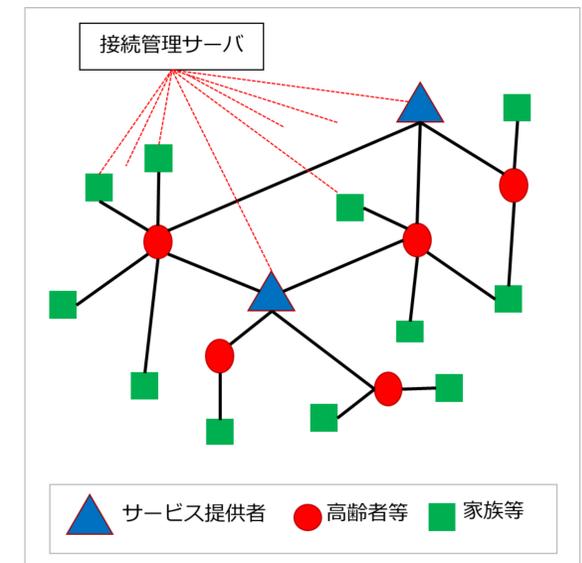
Sashima, A., Kawamoto, M., Kurumatani, K. (2018). A peer-to-peer telecare system using smart watches and wireless biosensors. Health and Technology 8(5) 317 - 328.

遠隔健康管理サービスのプラットフォーム化の課題分析



遠隔健康管理サービスのプラットフォーム化のイメージ

- プラットフォーム
 - 経路情報の管理と通信アプリをオープン化して提供
- 補完者
 - さまざまなサービス提供者の参入
 - データ分析
 - 代理見守り
 - UIの提供等
- 利用者
 - 家族間のP2Pサービスだけでなく、サービス提供者のサービスも利用



分析方法

技術的サービスプラットフォームの枠組みを分析した Gawer の論文 (Gawer, 2014) に従い、経済 (需要側) と工学 (供給側) の両面から遠隔健康管理サービスのプラットフォーム化に向けた課題とその分析方法について定性的に検討します

	経済的観点	工学的観点
概念化	市場としてのプラットフォーム	技術アーキテクチャとしてのプラットフォーム
見方	需要	供給
焦点	競争	イノベーション

表はGawer, A. (2014). Bridging differing perspectives on technological platforms: Toward an integrative framework, Research Policy, 43, 1239-1249. より抜粋して作成

謝辞・参考文献:

幸島明男 (2021) ピアツーピア遠隔健康管理サービスのプラットフォーム化に関する一検討、サービス学会第9回国内大会
本研究の一部は JSPS 科研費 JP26330125、JST CREST、JPMJCR18A4 より支援を受けました。